

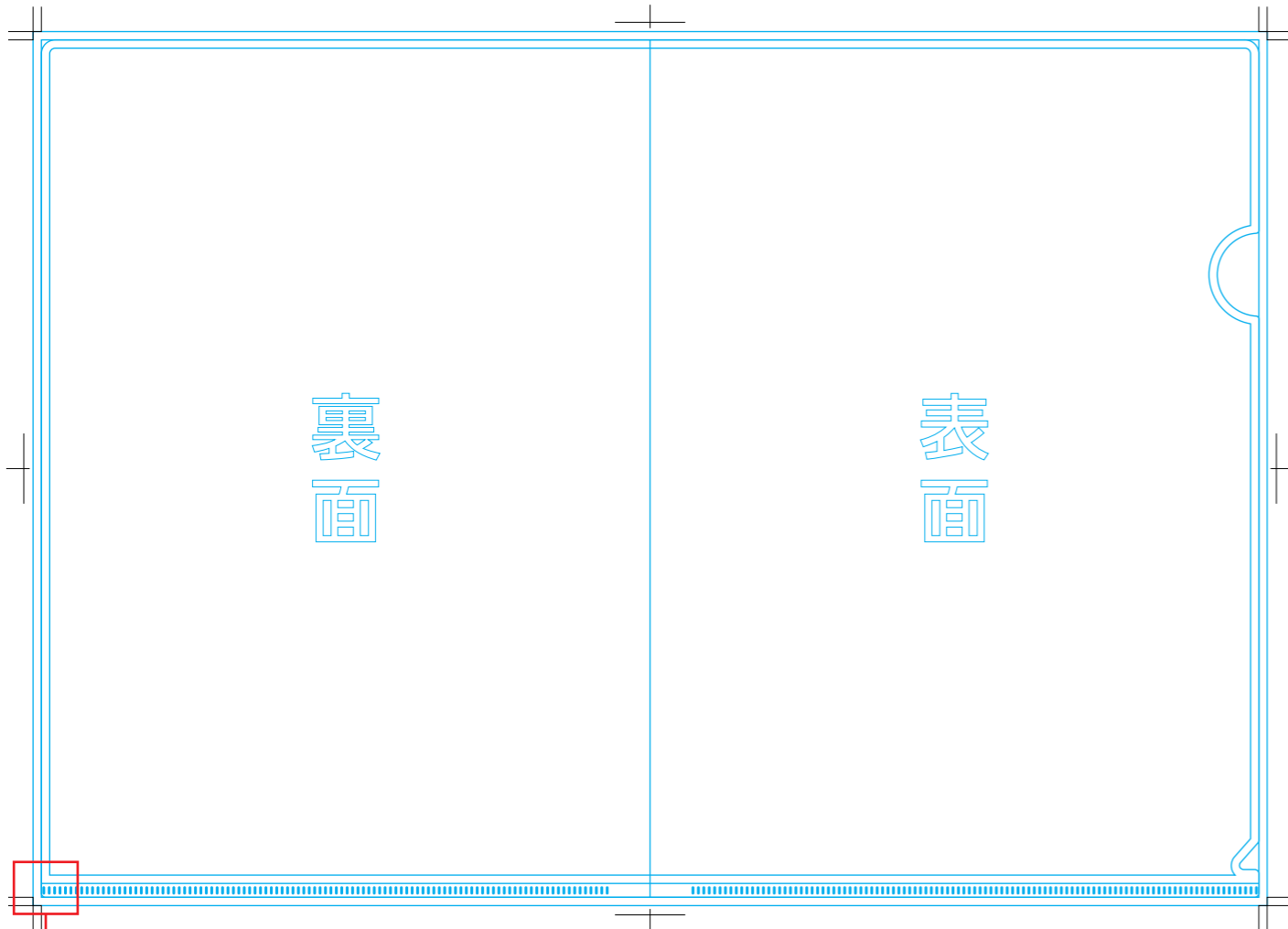
【はじめにお読みください】 Illustrator データ作成について

クリアファイル データ作成時のご注意点

クリアファイル データ作成時の注意点

1 テンプレートについて

クリアファイル全面に印刷が可能です。展開図（見開き）でのデータ作成となります。



ヌリタシ部：背景色や画像・図柄等の裁ち落としのデザインはここまでヌリタシを付けてください。

仕上り線：この線の位置で断裁され仕上がります。

切れてはいけない文字や画像・図柄はこの線の内側（仕上り線より 3mm内側）に配置してください。

切れてはいけない文字や画像・図柄はこの線の内側（下部は仕上り線より 8mm内側）に配置してください。

下部の ■■■■ 部分は圧着部になります。印刷は可能ですが、見えにくくなります。ご注意ください。

2 白版について

白版とは？

クリアファイルの素材は半透明の樹脂シート（ポリプロピレン）を使用しています。透明な素材に印刷する場合、カラーインクだけだと透けてしまいデザイン内の白い部分は透明になってしまいます。白版とはそのデザインの透けを防ぐためにカラーインクの下に白色のインクで印刷することをいいます。白版を使用することにより、カラー印刷の発色を良くし色が透けることを防ぎます。デザインによってはあえて白版を使用しないことにより、ステンドグラスのような透明感のある絵柄を再現することも可能です。

3 白版を使用したデータ作成例

白版のある箇所（上部文字と下部イラストの部分）は中の書類が透けません。
白版のない箇所（背景の黄色部分）は中の書類が透けて見えます。

カラーレイヤーでデザインを作成

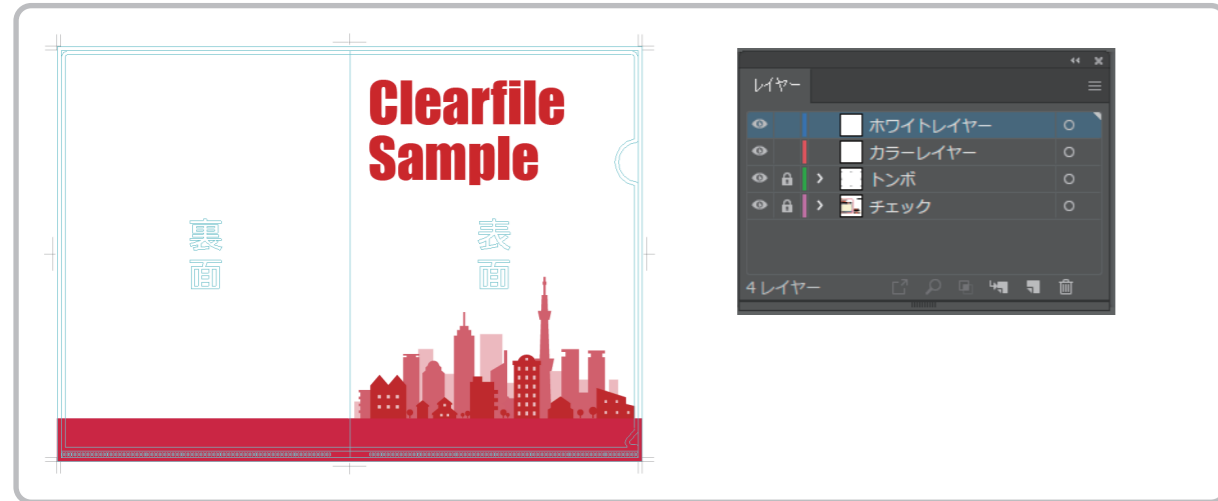
弊社テンプレートをダウンロードし、Adobe Illustrator でテンプレートファイルを開きます。カラーレイヤーにてデザインを作成します。

クリアファイル データ作成時の注意点

ホワイトレイヤーでデザインを作成

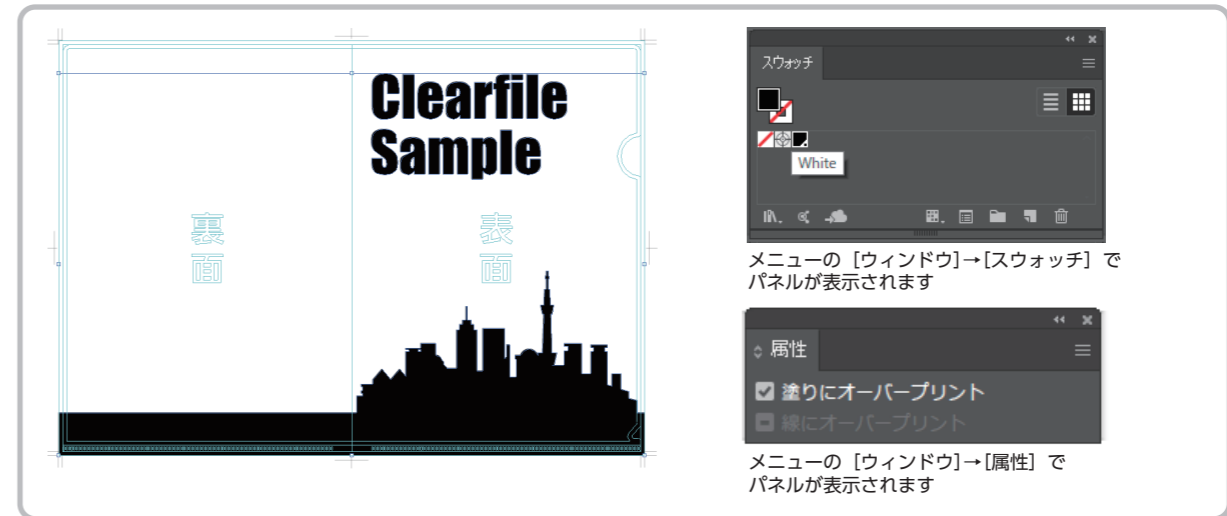
① 白版を使用したいオブジェクトをホワイトレイヤーに作成する

カラーレイヤー内の白版を使用したい部分のオブジェクトを選択し、メニューの [編集] → [コピー] をしてホワイトレイヤー内でメニューの [編集] → [同じ位置にペースト] を選択します。



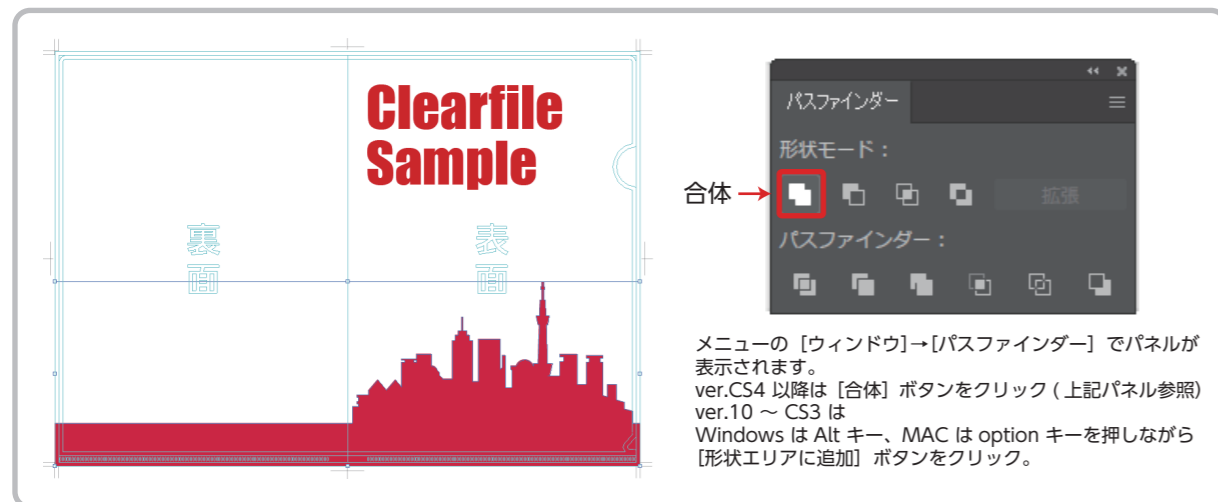
③ 特色 (White) を指定、オーバープリント設定をする

オブジェクトを全て選択し、スウォッチパネルにある特色 (White) で色指定を行いオーバープリント設定をしてください。メニューの [ウィンドウ] → [属性] からパネルを開き、塗りにオーバープリントにチェックを入れてください。



② オブジェクトの合体を行い、ひとつのパスにする

複数の重なりあったオブジェクトで出来ている場合は [パスファインダー] でひとつのパスにします。
※パスファインダーでひとつのパスにするにはバージョンによって方法が異なります。
※線がある場合は [オブジェクト] → [分割・拡張] を行ってから合体してください。



④ 白版データのサイズ調整 (パスのオフセット) をする

カラーデータと白版データを部分的に重ねる場合
白版データはカラーデータよりも 0.1mm 小さく作成する必要があります。
※白版データを小さくしない場合、カラーデータの周りに白いフチができる可能性があります。
白版を使用したい部分のオブジェクトを選択し、メニューの [効果] → [パス] → [パスのオフセット] からオフセットの値を **-0.1mm** にして [OK]
作成したオブジェクトを選択し、メニューの [オブジェクト] → [アピアランスを分割] をします。
これで元データより 0.1mm小さい白版データができます。



※上記以外の仕上がりがイメージや白版データのサイズ調整については下記よりご確認ください。
・仕上がりがイメージについては **白版の使用例** にてご確認ください。
・白版データのサイズ調整については **白版データ作成時の注意点** にてご確認ください。

4 白版の使用例

白版の有無による仕上がりの違いを下記にてご案内させていただいております。データ作成の際は必ずご確認ください。

(A) 白版の無い場合

白版のない場合、中の書類が透けて見えます。
白ではなくクリアファイル素材を活かした色（透明）になります



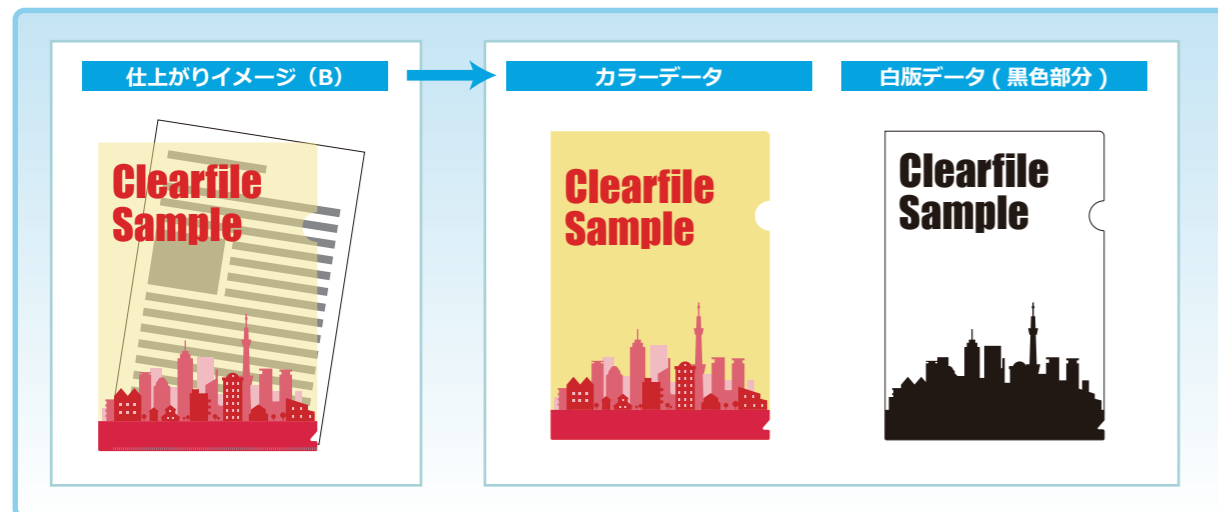
(C) 白版が「全面」にある場合

白版が全面にある場合、中の書類は透けません。
(クリアファイルの特質上、多少の透け感があります)



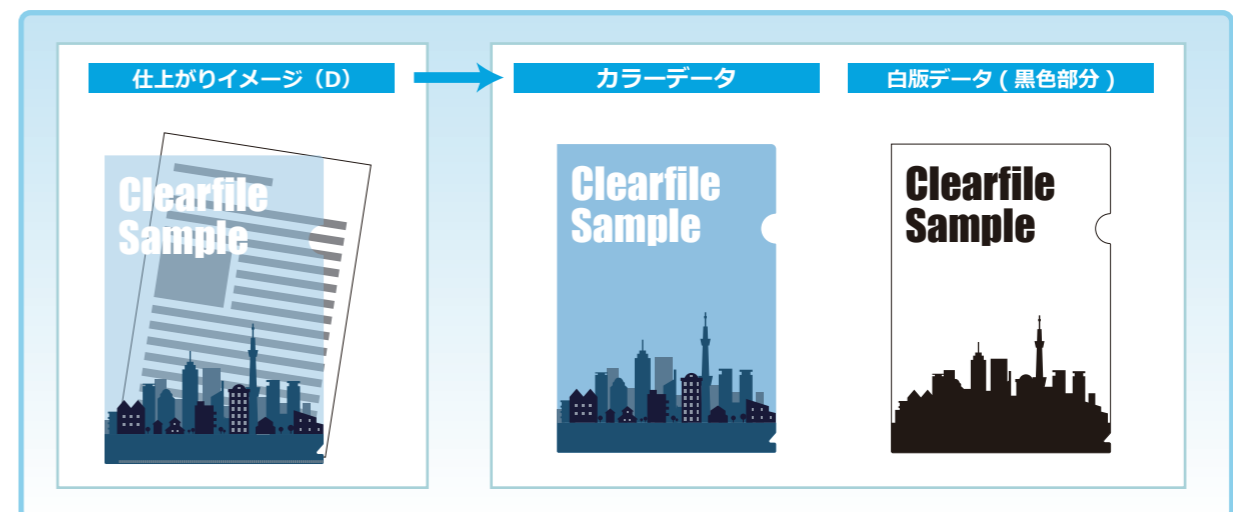
(B) 白版が「上部の文字と下部のイラスト部分」にある場合

白版のある箇所（上部文字と下部イラストの部分）は中の書類が透けません。
(クリアファイルの特質上、多少の透け感があります)
白版のない箇所（背景の黄色部分）は中の書類が透けて見えます。



(D) 白版が「上部の文字と下部のイラスト部分」にあって、カラーデータの「上部の文字が抜けている」場合

白版のある箇所（上部文字と下部イラストの部分）は中の書類が透けません。
(クリアファイルの特質上、多少の透け感があります)
白版のない箇所（背景の水色部分）は中の書類が透けて見えます。文字部は白色になります。



デザインによって白版データの拡大縮小が必要な場合があります。
白版データのサイズ調整については [白版データ作成時の注意点](#) にてご確認ください。

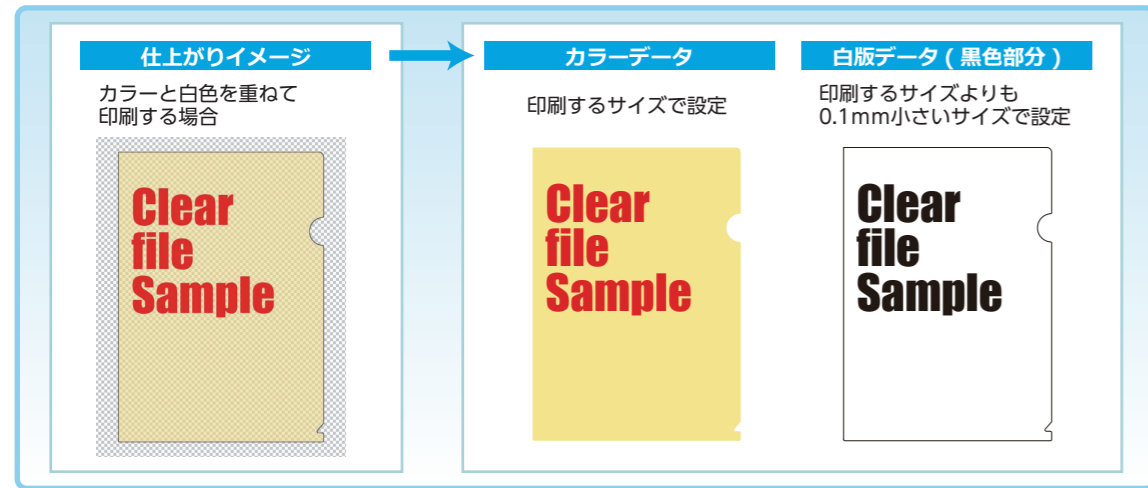
5 白版データ作成時の注意点

デザインによって白版データの拡大縮小が必要な場合があります。白版データ作成の際は必ずご確認ください。

白版データの縮小が必要な場合

■カラーデータと白版データを部分的に重ねる場合

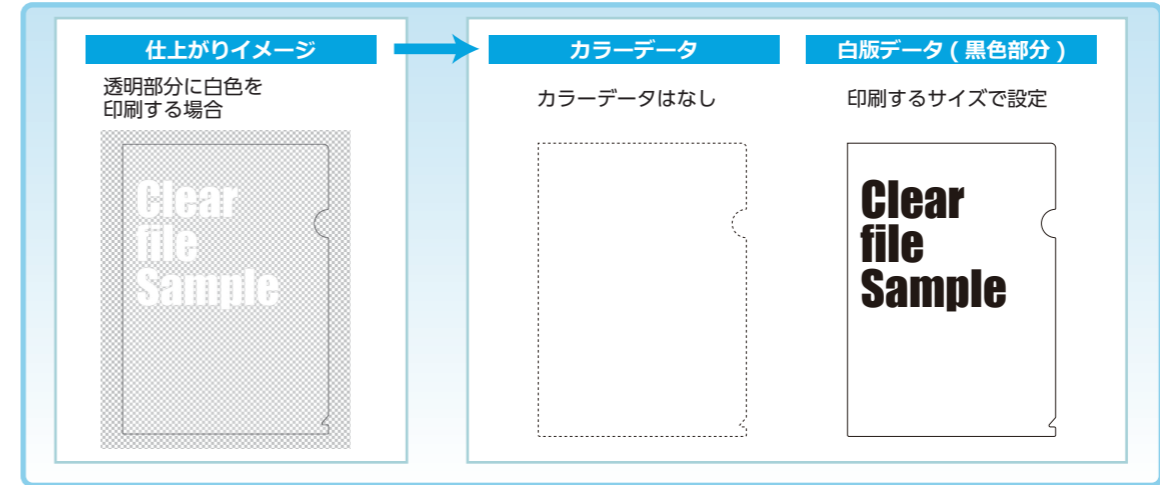
白版データはカラーデータよりも 0.1mm 小さく作成する必要があります。
※白版データを小さくしない場合、カラー版の周りに白いフチができる可能性があります。
白版を使用したい部分のオブジェクトを選択し、メニューの [効果]→[パス]→[パスのオフセット] からオフセットの値を **-0.1mm** にして [OK]
作成したオブジェクトを選択し、メニューの [オブジェクト]→[アピアランスを分割] をします。
これで元データより 0.1mm小さい白版データができます。



白版データの拡大縮小をしない場合

■カラーデータがなく白版データのみを印刷する場合

白版データの拡大縮小は不要です。



白版の有無による仕上がりの違いについては [白版の使用例](#) にてご確認ください。

白版データの拡大が必要な場合

■カラーデータの抜けている部分 (透明部分) に白色を印刷する場合

白版データはカラーデータよりも 0.1mm 大きく作成する必要があります。
※白版データを大きくしない場合、カラー版と白版の間に透明の隙間ができる可能性があります。
白版を使用したい部分のオブジェクトを選択し、メニューの [効果]→[パス]→[パスのオフセット] からオフセットの値を **0.1mm** にして [OK]
作成したオブジェクトを選択し、メニューの [オブジェクト]→[アピアランスを分割] をします。
これで元データより 0.1mm大きい白版データができます。

